

あなたの声を市政に届け、実現したい

アンケートに寄せられた声を街づくりにいかします

「高齢者の居場所がない」「若者の働く場所がほしい」「どこに住んでいても行きたい場所に行ける公共交通が欲しい」「王子の森公園内に、認定こども園ができるって。憩いの場だったのに。近隣住民に説明してほしい」

アンケートに寄せられたみなさんの声を大切に、願い実現のためにがんばります。

スタートしました

- 遠藤あやが、市民の要望を聞き勉強する会を始めました

命と暮らしを一番に

値上げラッシュが止まりません。約7割の国民が消費税の値下げを求めても、政府は背を向けています。

一方、軍事費は米国の要求通り、教育費の2倍以上に。これでは国民の暮らしや福祉の予算は削られることに。そうさせないため、みなさんと力を合わせて頑張ります。

実現しました

- 市営住宅入居の際の保証人を1人に

伊方原発は廃炉に!

環境・自然エネルギーへの取り組みで一步先ゆく街へ

自公政権は、原発の新增設や、60年を過ぎた原発も使い続けるとのこと。福島原発事故後の燃料デブリは、14年かけても880トン中、やっと0.2mg取り出ただけ。

使用済み核燃料は捨て場がないまま溜り続けています。原発は止めるしかないと思います。省エネ再エネの推進や、避難計画の見直しにも取り組みます。

子育てサポート

今不登校の小中学生が全国で36万人・自殺者数は529人と、この10年で3倍に。日本共産党は、子どもの権利を尊重し、子どもも親も安心できる支援を! 過度の競争と管理をやめ、子どもを人間として大切にする学校を! とする「不登校についての提言」を発表しました。私も、この問題に取り組んでまいります。

実現しました

- 18歳までの医療費無料化
- 自衛官募集の18歳の情報提供の除外申請が可能に

市政に取り組む
遠藤あやの
“**想い**”
です

実現しました

- 市民スポーツセンターへの地熱利用空調システム導入
- 全市施設のLED化
- PFAS水質検査の公表

困っている人に寄り添う政治を

2018年の豪雨災害、2020年頃からの新型コロナ、今年の豪雪によるビニールハウス被害など、思いもしないことが起こりました。これからも、現場で直接お話を聞きし、悩みやご要望を市政に届け、解決のために頑張りたいと思います。

実施中! 生活相談

連絡先

電話 0894-24-3261
携帯 090-9975-1463



雪害を受けたビニールハウスを視察(2025年2月)

DMでも受付中

みんなの意見を大切にする社会にしたい

私は、東日本大震災を東京で経験しました。東京にも放射能の高い場所があることを知り、八幡浜に帰ることにしました。でも地元には、伊方原発がありました。再稼働が問題になった時、こんな大事なことは、住民一人ひとりの意思を問うべきだと、住民投票に取り組み、9,000筆以上の署名を集めることができました。

みんなで議論し、一人ひとりがしっかり考えて意思表示する。そんな機会をつくるのが大切だと思います。これからも、小さな声も聞き取って政策に生かし、市政へ届けるために頑張ります。ご支援をよろしくお願いいたします。

空想が
大好きな
子でした

大学では
混声合唱団の
指揮者を3年間
務めました

伊方原発
再稼働の賛否を問う
住民投票条例制定の
市民の会共同代表を
務め、署名を提出
(2015年11月)

母と父

プロフィール

千丈小、松柏中、八幡浜高校、和光大学文学部卒業。政党新聞記者、損保・証券会社(派遣)、タクシー運転手など勤務。福島原発事故を機に2012年八幡浜にUターン。2015年11月、伊方原発再稼働の賛否を問う住民投票条例制定の市民の会共同代表を務める。

2017年8月八幡浜市議初当選。現在2期目。市議会民生文教委員、日本共産党南予地区常任委員、愛媛県生活と健康を守る会連合会副会長。